

平成 29 年度第 3 回矢臼別演習場周辺まちづくり構想住民懇話会 会議録

【会議開催概要】

開催日時：平成 29 年 12 月 21 日（木）午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分

開催場所：別海町役場 1 階 101・102 会議室

出席人数：10 名（欠席 5 名）

<会議次第>

1 開 会

2 前回の振り替り

3 議 事

報告第 1 号 第 2 回住民懇話会開催以降の経過報告について

議案第 1 号 （仮称）生涯学習センターの配置計画・平面計画（案）について

議案第 2 号 3 館連携の考え方について

議案第 3 号 今後の予定について

4 そ の 他

5 閉 会

1 開会

2 前回の振り返り

（事務局説明）

第 2 回矢臼別演習場周辺まちづくり構想住民懇話会の開催概要について資料 1 に基づき説明。

（質疑・意見）

なし

3 議事

報告第 1 号 第 2 回住民懇話会開催以降の経過報告について

（事務局説明）

第 2 回住民懇話会以降に開催された庁内検討組織による検討状況について説明。

（質疑・意見）

なし

3 議事

議案第 1 号 （仮称）生涯学習センターの配置計画・平面計画（案）について

(事務局説明)

第2回住民懇話会での意見等を踏まえ、庁内検討組織並びに各関係部署、団体等と協議を行い作成した配置計画・平面計画(案)について、資料2を用い以下の点を説明。

- ・配置については、庁内での検討の結果、A案、B案の2案が残った。A案、B案の評価については、資料2にまとめている。
- ・ホールとホワイエは屋外に開放できるようにして、今まで多目的広場でしかできなかったものをホールの中に取り込めるようなことも考えていきたい。
- ・1階の南側正面に子育て世代に開放されて利用しやすい親子活動室を配置し、可動間仕切りで設置することを想定。
- ・町民の利便性やサービスの向上を目的に、前回の住民懇話会でも意見があったボランティア活動事務室と公民館事務室をワンルームとした。
- ・ホワイエに面して図書コーナーを配置し、ゆったりくつろげるような空間とした。
- ・2階に80席の固定席を設け、平場での利用でも固定席から平場利用を鑑賞できる仕組みにし、また、親子鑑賞室を設け、お子さん連れでも気兼ねなく利用できるようにした。
- ・面積は、1階で3054.7㎡、2階で1368.6㎡、3階の管理用ペントハウスが52㎡、合わせて4475.3㎡となり、当初見込みの3500㎡に対して1000㎡程度、諸室の追加、ホワイエやホールその他それぞれの諸室を結ぶために必要な通路を配置したことにより、大きくなっている。
- ・ステージの舞台装置の関係で、ホールの部分は役場と同じ高さになる。
- ・前回の懇話会で意見をいただいた、ぷらとと生涯学習センターの2階を廊下でつなぐことについては、道路の上に5.5mの空間を取らなければならないことや、新しい施設がぷらとより2階の床が高いということでエレベーター付きの階段室のようなものをぷらと側に付けて、高さをクリアしなければならないこと、冬期間の落雪への対処が必要になるため、コスト面も含めて技術的には難しいという判断をしている。
- ・その他の諸室の配置(案)については、資料2のとおり。
- ・民有地の取得については、地権者から協力いただける回答を得て取得に向けた協議を進めている。
- ・庁内での検討結果としては、施設の配置はA案として方向づけている。

(委員)

ホールは600席で確定して進めているのか。600席で確定であれば、そこまでの舞台装置は必要なのか。あと、配置計画の中で、商工会が前から言っている道の駅的な建物を、これでいうとどの辺に設置ができるのか。

(事務局)

舞台の装備や装置は、札幌市で整備している「ちえりあ」というホールの仕様を参考にしている。ただ、「ちえりあ」がとても立派なホールなのかという点を決してそうではなく、一般的な装備のホールであるということを押さえていただきたい。

生涯学習センターと物産館を近くに建てたときに、物産館を道の駅に設定してしまうと、駐車場の台数は確保できると思うが、例えば車の中で寝泊まりする人が近隣の道の駅を見ると多いので、生涯学習センターのイベントと重なったときに、生涯学習センターに支障を来たすのではないかという考えがある。なので、今の状況でいうとこの近くではなく、別の場所の方が良いのではと考えている。

(委員)

商工会に聞きたいが、このプランが出るときにぷらと、メディア館の再利用という中で道の駅という話は出なかったのですか。例えば商工会の事務所を2階にして、1階部分を道の駅に利用するとか。

(委員)

商工会としては別棟で建てるということで。ぷらとはバス待合所という形で造った建物だと思うので、それを役場が許してくれるのかというのものもある。

(事務局)

役場がそこはバス停だからダメだということにはならないとは思いますが、バス会社との協議は必要かと思う。

(委員)

少し北側に下げて造るB案の方が使いやすいのかなと思う。駐車場についても、中標津のしるべっともメインの駐車場が裏なので、あまり関係ないのかなと。イベントスペースも場所さえあればどこでもいいのかなというのものもあるので、僕はB案でいいかなと。

(委員)

B案を北側にずらすか、A案を南側にずらすか。私も、ある程度広場を狭めてもいいからぷらとに近づきたいと思っているが、それで現状多目的広場を利用されているイベントが、中途半端なものになるのもどうなのかなと。あくまでもこの面積をフルに使うのが年間にかなりやっていて、この位の広さの方がいいということであれば、それは仕方ない。

もしそうであるのであれば、生涯学習センターからぷらとに行く全天候型の通路を造るとか、吹雪いようが、雨が降っていようが多少距離は長いけれども、例えばクリアな通路とかがあればいいのでは。

(委員)

今の多目的広場程度の広さはあった方がいいとは思う。

(委員)

ここで示しているA案の駐車スペースというのは、現在のぷらと広場の面積そのままなのか。

(事務局)

ほぼ同じです。盆踊りも、ほぼスペースは使っていますし、高校のパフォーマンスもほぼ使っています。

(委員)

親子活動室に、できれば子供用のトイレも一緒にあった方がいいのかなと思う。こういう場所には、子ども用の小さなトイレがよくあるので、そういう細かな配慮があってもいいかなと思った。

(事務局)

スペース的な問題もあるが検討させていただきたい。

(委員)

図書コーナーはどこが管理するのか。

(事務局)

図書コーナーについては、生涯学習センター独自の本の配架ということで考えており、常設の配架で約2000冊を想定している。

ここで大きくエントランス・ホワイエの前の方に親子活動室が出てきているが、例えば、子育てに関する本、子どもに関する児童書等、ある程度コンセプトを持ったものを道内の図書の提供団体や役場の予算等を含めて整備を進めていきたいと考えている。

(委員)

2階に木工・美術室、陶芸室を設定しているが、メディア館に持っていけないのか。防音の問題もあるし、陶芸も電気の窯を使ったりすると思うが、木工も美術も陶芸も全部メディアというふうにとらえればメディア館でもいいかなと。

(事務局)

今の状況で説明すると、中央公民館には陶芸、木工、美術室という専門の部屋はないです。中央公民館から、例えば陶芸であれば東公民館に通っているという実態があるので、ぜひ中央にも整備したいという話があり、今回この3つの部屋を配置することとしている。そして、マルチメディア館の方にこれを持っていくにしても、スペース的に難しいかなと思うので、町で今後中央公民館で取り組みたい陶芸、木工、美術についてやるのであれば、この生涯学習センターの中で整備したいと考えている。音の問題、粉塵の問題は解決しなければならないが、技術的には可能である。

3 議事

議案第2号 3館連携の考え方について

前回の住民懇話会での意見も踏まえ、庁内検討組織で協議を行い作成した3館連携の考え方について資料3を用い以下の点を説明。

- ・「～つながり、ささえあい、はぐくむ、創造交流のまちづくり～」の基本理念のもとに整備される（仮称）生涯学習センターを拠点として、既存周辺施設の交流館ぷらと、マルチメディア館を含めた空間を使い、まちづくりの基本方針を具現化していくことを目指す。
- ・新施設には600席のホールのみで小規模な催しの受け皿となる機能はないことから、マルチメディア館のホールを3館連携の中の小ホールと位置づけ改修も視野に検討を進めたい。
- ・高校生アンケート等で、静かな場所で読書、勉強をしたいというニーズがあるが、市街中心にはそのようなスペースがないことから、マルチメディア館にその機能を持たせたスペースを設けることを検討していきたい。
- ・基本計画で新施設へ商業空間を導入しないこととしたが、商業ベースの諸室使用のニーズは中央公民館等の使用実績から確認できることから、そのニーズに応えるため、交流館ぷらとにそれらにも対応した多目的なスペースを整備することも視野に検討を進めたい。
- ・3館の諸室管理を一元化し3館の諸室を共有することで町民の皆さんがストレスなく利用できることを目指す。

(委員)

3館を一括管理するということが、図書館の視聴覚ホールも入れてはどうか。町の施設でもあるし、立派なホールなので、生涯学習センターの事務所に来れば、その利用も可能になると、少しでも立派な図書館のホールの利用がされるのではないかと。

だから、生涯学習センターは、図書館や郷土資料館も含めて運営すべきだと思う。

(事務局)

仕組みづくりについては検討させていただきたい。他にも施設があるので、図書館だけではないかもしれない。いずれにしても、うまく図書館も利活用できるように検討していきたい。

(委員)

マルチメディア館は補助事業で建てたものだと思うが、どの程度までの改修を考えているのか。

(事務局)

実現できるかどうかは別にして、ホールに関しては、前にもイスが狭いとか、舞台だとピアノ演奏会をやるとしたら狭いというような話が出ているので、できればホールを一部改修してそういった機能を持たせるとか、子どもたちが静かな場所で勉強したいということであればそういった空間を作るとか、大々的な改修、補修というのは考えていないが、利便性を考慮した中での改修というイメージをしている。

(委員)

マルチメディア館は、指定管理という形で管理・運用されているところがあるし、教育の現場ではパソコン研修室を利用して研修を進めていた経緯もあるので、その機能をどこまで残しつつ、住民からの要望を実現させるかというところで、補助事業で整備した経緯もあるので難しいのかなと思いつつ聞いていた。

(事務局)

基本的にマルチメディア館を別の施設にするということは考えていない。当初の目的としては情報の発信地として整備したが、IT技術はどんどん成長しているので、そこを中心にそういった問題に取り組みながら、ホールなどは一部改修をして、もう少しそこに集えるような場所にしたいと考えている。

(委員)

3館連携という中で、具体的な人の動きやそういったシミュレーションをしたものはあるのか。どういった形で動線を描けば住民がスムーズに3館を行き来できるのかというのを、もしうまくいかないのであれば何か策を講じなければいけないと思う。入口を変えるとか、全天候型の通路などで対応するとか。

(事務局)

現状では、シミュレーションはしていない。ただ、あそこに生涯学習センターを建てることで進めているので、例えばぷらとで行う事業や、メディア館の事業がある程度決まらないと、人の動線というのも検討しづらいところはあるが、今後そういったことを描きながら進めていかないとならないと考えて

いる。

(事務局)

生涯学習センターの計画に当たっては十分に皆さんから意見をいただいております、現在検討している実施計画の中でも3館の連携というのを整理していきたいが、バスレーンのこともあるので、具体的な絵を描くのはまだちょっと難しいと思っている。ただ、3館連携の位置づけをある程度方向付けして提案することは実施計画の中でできるかなとは考えている。

(委員)

要支援者の人や高齢者の人たちの動線も考えていかなければならないので、それをある程度予想して人がどうやって動いていくのかというのを考えて、極端なことを言ったら道路の位置を変えるくらいのプランを立てるべきだと思う。

(事務局)

町の方でも、今意見をいただいたように全体を一つの空間としてすべての人が使いやすいようにしていきたいと考えている。

3 議事

議案第3号 今後の予定について

今後の住民参加機会の予定について以下の点を説明。

- ・ 1月下旬から2月下旬にかけてパブリックコメントを実施。
- ・ 3月末までにまちづくり構想実施計画を策定。

(委員)

パブリックコメントは正当な方法だとは思いますが、そういうところで発言できない人たちの意見があるはずで、それをどう吸い上げていくかというのを考えなければならない。パブリックコメントということばかりに頼って、それをやったからこれで町民は納得しているんだと思われるのはちょっと怖いかなど。町側もそれをやっているからいいというのではなくて、ちょっと踏み込んだことを町民の方にいろんな機関を通じてできないのかなと思う。

(事務局)

パブリックコメントをやったからいいという感覚は、少なくとも町としてはあってはならないと思っている。ただ、現状として一番広く参加をすることが可能な制度としてこのパブリックコメント制度というのは生まれてきた経過がある。役場の内部でもパブリックコメントは永遠のテーマでずっと進んできていて、どうしたら参加してもらえるかというのがいつも議論になっているが、それについては今後もしいろいろと知恵を出していきたいなと思っている。

(委員)

この間話した高架橋は却下されたので、今度は地下空間を。冬場の凍上した路面を50～60m歩かないとぷらとに行けないような距離なので、地下空間にしてその歩道の移動時間を含めた中で、そこでも休んだり休憩したりできるくらいのことを発想してもいいと思う。そうすると凍結の心配もないし。

建設費がどれくらいかかるかわからないが、そういう遊び心を持ったものも考えながらやらないと。一回建ったらまた50年、60年使わなきゃならない施設だと思うので。

(委員)

最初に町長が町のシンボルになるような建物と言われているので、今までの話は利用しやすいとか、使い勝手がいいという話だったが、例えば2階の屋上を夏場だけオープンテラスにするとか、ビアガーデンを屋上でやるとか、そういうのもありかなと思う。

(事務局)

もし、ぷらとの2階を改装することになれば、ぷらとの2階は外に出られる屋根構造になっているので、費用対効果もあるが、検討できるものの一つかなという話があった。それらも含めて、既存施設をいかに無駄にしないで有効的に使っていけるかという観点で考えていきたいと思っているので、ぷらとの今後については、現在管理していただいている商工会とも意見交換をしながら検討していきたい。

(委員)

教職員の立場からお話しさせると、実は教職員の指導力向上のための研修する設備が非常になくて、実際に実習その他が行うときは学校をお借りしてやっているというような状況です。ぜひこのような施設が充実していくことを望みます。

(委員)

今後懇話会はないんですね。

(事務局)

今日が最後になります。

(委員)

本来公民館施設ということを考えるのであれば、最後まで住民と話をしながら細かい間取りまで決めていくというのが理想だと思うが、ここで、全部そちらに預けなければならないというのはちょっと惜しいなという気がする。

(事務局)

この住民懇話会はこれで終わりますが、来年実施設計に移ります。実施設計に移ると役場の担当とのすり合わせとなってしまうが、教育委員会の生涯学習施設ですので、そこの中で意見を言いながら反映させていきたいと思っているので、福祉なら福祉、教育委員会なら教育委員会で、ぜひ良い意見をその場に出していただきたいなと思います。

5 閉会